



2006年1月20日 第2006-12号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

TEL 03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 第164通常国会開会

1月20日、150日間の会期で第164通常国会が開会しました。今国会では、税制・医療制度改革、均等法改正法案等が審議される予定です。

### 連合政策要求実現集会

連合は、同日参議院議員会館で「連合政策要求実現1.20院内集会」を開催しました。集会では、前原民主党代表が「我々はムダな支出を削り、本当に必要なところ・人に対することに税を使っていかなければならない。自民党政治のツケを払わされるのはとんでもないことである。労組と政党は立場が違う部分もあるが、お互いに十分議論して結論を得ていくことが必要である。私たちは皆さんの代弁者として、国会の中でがんばっていく。」と決意を表明しまし

た。

連合は2006年春の政策制度実現の取り組みとして、次の5つの重点課題を掲げています。

- ①サラリーマン増税阻止
- ②社会保障制度の一体的改革の実現
- ③子育て支援の拡充
- ④パート労働者の均等待遇と男女雇用平等法制定
- ⑤公務員の労働基本権確立と民主的で透明な公務員制度改革の実現

連合古賀事務局長は集会の最後に「連合は『負担増・給付削減社会との決別』をスローガンに、さまざまなキャンペーンを行い、世論を喚起していく」と力強く述べました。

## 診療報酬改定に関するパブリックコメントにあなたの意見を！

中央社会保険医療協議会では、現在診療報酬改定に向けて個別の診療報酬点数に関する具体的な議論を行っています。医療制度改革に関する政府与党案では明細の入った領収書の義務付けが示され、私たちが行ってきた「お医者さんにかかったら領収証をもらおう」運動は成果を得ることができました。しかし日本医師会はい

まだに明細のわかる領収書の発行の義務化に強く反対しています。

厚生労働省では診療報酬改定に関するパブリックコメントを実施しています。私たちの要求実現を確実なものとするため、パブリックコメントで意見表明をお願いします。

Ctrl キーを押しながらクリックしてください  
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/01/s0118-6.html>